
砂崎 知子（箏） Tomoko Sunazaki

岡山市出身。東京藝術大学大学院修了。

東京藝術大学非常勤講師、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学邦楽科客員教授を歴任。

文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞、伝統文化ポーラ賞優秀賞、山陽学園オリーブグリーン賞受賞。

2006年開軒40周年記念リサイタルを国立劇場にて開催。2007年より全国ツアーで国内29カ所を廻る。

1975年「琴ヴィヴァルディ四季」（東芝EMI）で40万枚のレコードを売り上げ、CD化に至る。1989年ビクターよりソロアルバム「ベストテイク」発売。2007年から日本コロムビアより宮城道雄作品集シリーズ「春の海」「水の変態」「越天楽変奏曲」を順次発売、純邦楽CDランキング1位を獲得。2016年5月に砂崎知子作品集CDを発売。

現在：全国小中学生箏曲コンクール、全国高校生邦楽コンクール審査員。NHK TV「にっぽんの芸能」、FM「邦楽百番」等に多数出演。生田流箏曲箏道音楽院代表。（東京本部、千葉・大阪・岡山・広島・徳島各支部）

オフィシャルサイト <http://so-do.jp>

高畠 一郎（箏・三絃・十七絃） Ichiro Takabatake

神奈川県出身。伯母より手ほどきを受け、後に生田流箏曲演奏家 砂崎知子に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。2012年に開催した箏リサイタル「ひむかしとりかふ」に対し、文化庁芸術祭賞〈優秀賞〉を受賞。15年に市川市民芸術文化奨励賞を受賞し、16年4月に本賞の受賞と箏道音楽院副代表就任を記念した箏リサイタル開催。NHK「芸能花舞台」やテレビ朝日「題名のない音楽会」等のテレビやラジオに出演。多くの海外公演、洋楽・雅楽・アジア民族音楽とのコラボレーションや、リサイタル賛助出演、独自のカリキュラムでの授業や講習会、各種音楽監修等、幅広く活動する。

現在：生田流箏曲箏道音楽院副代表兼千葉支部長（市川市、広島市、呉市、福岡市）、砂崎知子と琴ニューアンサンブル団員、森の会会員、日本三曲協会会員、立正大学非常勤講師。

（平成30年8月現在・転載禁止）